

令和6年度

ふくしまを十七字

で奏でよう

「ふくしまへの^{おも}想い、^{ねが}願い」「生活のなかで^{せいかつ}体験した^{たいけん}こと」「家族の^{かぞく}ふれあい」「^{しんさい}震災の^{きおく}記憶」について、親子や祖父母と子のペア、子どもどうして^{ひょうげん}表現してみませんか。

＜^{れいわ}令和5年度 ^{ねんど}県入 ^{けんにゅうしょうさくひん}賞作品＞

「^{きずなぶもん}絆部門」

「^{ふんせつぶもん}ぶんせつ部門」

こわかった ししまいつか ぼくがやる
 小学四年

いつの日か 息子につなぐ 笛の音
 父 小学四年

しわくちやの えがおにつられ わらいあい
 小学一年

孫の声 聞き取りできず 笑うだけ
 曾祖母 小学一年

聞いててね 校歌を全部 覚えてよ
 小学一年

我が母校 親子で歌い 懐かしむ
 母 小学一年

お父さん いっしょに食べよう オンライン
 小学四年

いただきます 単身の夕げに 子の笑顔
 父 小学四年

じゅうななじ
十七字で



こ ゆた たいけんかつどう だいじ
子どもたちの豊かな体験活動を大事にします

ひと ひと きずな ふか
人と人との絆を深めます

～ 作品の題材の例 ～

- 親や祖父母が子や孫の成長を嬉しく思う気持ち
- 子どもが祖父母や親に感謝する気持ち
- 子どもがこれからの夢や希望を抱く気持ち
- 親や自分が育った地域のよさに思いを寄せる気持ち
- 親子で海や山などの自然の豊かさを感じた体験
- 部活動での友人どうしの心の交流



ふくしま絆ふれあい支援事業

【募集期間】令和6年6月10日（月）～8月30日（金）

【応募用紙】○学校、市町村教育委員会、公民館、県北教育事務所などに配付されています。

○福島県教育庁社会教育課のホームページからダウンロードできます。



【応募先】学校、市町村教育委員会、公民館、県北教育事務所

【応募規定】○絆部門・・・日常生活の体験を題材としたもの

○ふるさと部門・・・ふくしまへの想い、復興について

子と親、子と子、子と大人（祖父母などどなたでも）でのペアで五・七・五を基本に十七字で作品を作ります。

【表彰】◇最優秀賞（各部門5組） ◇優秀賞（各部門5組）
◇佳作（各部門10組）



優秀な作品を表彰します。また、福島県教育庁社会教育課のホームページ、Twitter等に掲載し全国へ発信します。

【問い合わせ】福島県教育庁県北教育事務所 総務社会教育課
福島市杉妻町2番16号 024-521-2814

令和5年度は、県北地区で5,563点と過去最多の応募がありました。毎年、たくさんのご応募ありがとうございます。今年度の作品の応募もよろしくお願ひします。

令和6年度「ふくしま絆ふれあい支援事業 ふくしまを十七字で奏でよう」実施要項

～ 想いを繋ぎ 想いを届ける 十七字 ～

1 趣 旨

子どもと家族、子どもと地域の大人、子どもと子どもなど、家庭や地域における人と人のかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七音で表現することをとおして、子どもの豊かな心を育成するとともに、人と人との「絆」を強め、家庭や地域の教育力の向上を図る。

また、広く県内外からふくしまへの思いや震災体験、それを乗り越えてきた気持ちを詠んだ作品も募集し、震災の記憶の継承と復興に向けた想いを共有する機会とする。

2 目 的

- (1) 直接体験や交流体験の不足している現代の子どもたちが、さまざまな体験の場や機会に触れることをとおして、家庭や地域の教育力の向上を図る。
- (2) さまざまな体験をとおして、子どもたちに思いやりや奉仕の精神、コミュニケーションの大切さ等を実感させる。
- (3) 子どもたちがさまざまな体験から得た思いや感動を表現することで、伝え合う楽しさや喜びを感じ取らせる。また、共通体験をとおして、自分を支えている大人や友達の思いや願いに気づかせる。
- (4) ふるさととしての福島への思いや願いを詠むという創作による心の表出により、心の復興へ繋げる。
- (5) 語り部などから「震災」について聞くことや震災を乗り越え、復興について考えた作品を通して震災の記憶の継承に努める。

3 主 催 福島県教育委員会

4 後 援

福島県公立学校退職校長会 福島民報社 福島民友新聞社 NHK福島放送局
株式会社ラジオ福島 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島 ふくしまFM
福島県PTA連合会 福島県高等学校PTA連合会 福島県特別支援学校PTA連合会
福島県小学校長会 福島県中学校長会 福島県高等学校長協会 福島県特別支援学校長会
福島県国公立幼稚園・こども園協議会 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会
福島県私立中学高等学校協会

5 応募形態

「子どもと大人」「子どもと子ども」のペアによる応募
(子どもと親・保護者、子どもと祖父母、地域で様々な活動を行っている子どもとその指導者、職場体験を行った子どもとその事業所の方、ボランティア活動を一緒に行った子どもと活動先の大人など)

6 応募用紙

別紙様式(応募用紙は、ホームページよりダウンロードできます。)

(国公立幼・小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校・保育所・認定こども園、教育事務所、市町村教育委員会、社会教育施設(自然の家、公民館等)等に配付予定)

7 募集期間

【県内】 幼保・小中学校：令和6年6月10日(月)～令和6年8月30日(金) 各市町村教育委員会必着
高校・特別支援学校：令和6年6月10日(月)～令和6年9月6日(金) 域内各教育事務所必着
【県外】 全 校 種：令和6年6月10日(月)～令和6年9月6日(金) 教育庁社会教育課必着

8 応募先

各学校、各公民館、各市町村教育委員会、各教育事務所総務社会教育課
県教育庁社会教育課(県外からの応募専用)

9 応募規定

- (1) 作品募集については以下の2部門とする。
 - 絆部門日常生活等で、家族や友達との共通体験に基づいた十七字
 - ふるさと部門福島のよさや震災の記憶、未来への願い等についての十七字
 - (2) 応募対象者については原則として以下のとおりとする。
 - 絆部門福島県内在住者、福島県内の方で県外へ避難等県外在住者
 - ふるさと部門福島県内在住者、福島県内の方で県外へ避難等県外在住者、福島県外在住者
 - (3) 規定の応募用紙を使用する。(コピー可) ※高校生は応募フォームからの応募可能とする。
 - (4) 「子どもと大人」「子どもと子ども」など、ペアで家庭や地域等でふれあったり経験したりしたことなどをとおして感じた思いや願い、ふたりの絆に関するエピソード、震災時の体験や、ふるさと福島への思いや願いなどを、おのおの作品として創作したもの。
- ※ 就学前で文字が書けないお子さん等とペアを組む場合は、会話の中で十七字を聞き取り、代筆していただいて構いません。
- (5) 五・七・五の十七音を基本とし、自由な発想で創作したもの。
 - (6) 創作の動機は、審査の参考にするので、応募用紙の所定の欄に記入する。
 - (7) 応募作品は、同一ペアで各部門1点(絆・ふるさと部門応募可)とし、未発表のものに限る。
 - (8) 過去の作品と類似の作品や「作品を作ったきっかけ」が無記入のものは選考対象外とする。

10 広報手段

県教育委員会メールマガジン、社会教育課HPやX(旧Twitter)、Noteなどに掲載予定。

11 受付及び審査

- (1) 受付は、別紙1「事務の流れについて」により実施する。
- (2) 審査は、別紙2「審査手順」を参考に実施する。

12 表彰

<絆部門>		<ふるさと部門>	
◇最優秀賞	5組程度	◇最優秀賞	5組程度
◇優秀賞	5組程度	◇優秀賞	5組程度
◇佳作	10組程度	◇佳作	10組程度

13 結果発表(12月上旬予定)

- (1) 入賞者(最優秀賞)には、直接通知する。
- (2) 社会教育課ホームページに入賞作品一覧等を掲載する。
- (3) 各報道機関等で発信する。

14 表彰式 令和6年12月7日(土) 公立学校共済組合飯坂保養所 あづま荘

- (1) 出席者(予定): 審査員長等、最優秀賞受賞者、教育長、社会教育課長、社会教育課主幹、事務局員
- (2) 入賞者の旅費について、予算措置あり。

15 その他

- (1) 応募作品は返却しない。
- (2) 応募作品についての一切の権利は、福島県教育委員会が有する。

16 事務局 福島県教育庁社会教育課 「ふくしまを十七字で奏でよう」係

〒960-8688

福島県福島市杉妻町2番16号(西庁舎4階)

TEL024-521-7799 FAX024-521-7974

子どもと大人・子どもと子どもがペアで作る五・七・五

おも つな おも とど じゅうななじ
 ～想いを繋ぎ 想いを届ける 十七字～ (令和6年度キャッチフレーズ)

平成14年度より実施しているこの事業は、今年で23年目を迎えました。

子どもたちの豊かな心を育むために、次の点に力を入れています。

- 子どもたちの豊かな体験活動を大事にします。
- 人と人との絆を深めます。
- 学校、家庭、地域みんなで子どもたちを育てる体制づくりを推進します。

ふくしまを十七字で愛ぼう
 ふくしま絆ふれあい支援事業 (県内用)

ほしゅうきかん
募集期間

幼保・小中学校 令和6年6月10日(月)～8月30日(金)
 高校・特別支援学校 令和6年6月10日(月)～9月6日(金)

おうぼうし
応募用紙

- ※ 規定の応募用紙を使用してください。
- 配布場所…保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村教育委員会、社会教育施設(自然の家、公民館など)、教育事務所
- 教育庁社会教育課のホームページからダウンロードできます。
- 高校生は、応募フォームからも応募できます。

おうぼきてい
応募規程

- (1)県内在住または県外に避難している「子どもと大人のペア」「子どもと子どものペア」であればどなたでも応募できます。
- (2)応募用紙を使用してください。(コピーでも結構です。)
- (3)同一ペアでの応募は次の各部門1点(両部門応募可)とします。
五・七・五の十七音を基本として応募してください。
- 絆部門…日常生活等での共通体験をとおした十七字
- ふるさと部門…ふくしまへの想い・復興について、震災の記憶の継承、ふるさととしての福島よさ、願いについての十七字
- (4)応募作品は未発表のものとして、また、応募作品は返却いたしません。
- (5)応募作品についての一切の権利は、福島県教育委員会が有するものとします。

ひょうしょう
表彰

優秀な作品を表彰します。また、社会教育課のHPやnote等に掲載するほか、各報道機関で全国へ発信します。
 ◇最優秀賞(各部門5組程度)
 ◇優秀賞(各部門5組程度)
 ◇佳作(各部門10組程度)

おうぼ およ
応募及び
とあさき
問い合わせ先

近くの学校、市町村教育委員会、公民館 または

東北教育事務所	024-521-2814	南会津教育事務所	0241-62-5367
県中教育事務所	024-935-1488	相双教育事務所	0244-26-1315
県南教育事務所	0248-23-1666	いわき教育事務所	0246-24-6144
会津教育事務所	0242-29-5488	教育庁社会教育課	024-521-7799



高校生専用
応募フォーム



社会教育課
ホームページ



主催：福島県教育委員会

後援(予定)：福島県公立学校退職校長会、福島県民報社、福島県民友新聞社、NHK福島放送局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしまFM、福島県PTA連合会、福島県高等学校PTA連合会、福島県特別支援学校PTA連合会、福島県小学校長会、福島県中学校長会、福島県高等学校長協会、福島県特別支援学校長会、福島県公立幼稚園・こども園協議会、公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会、福島県私立中学高等学校協会 (順不同)